

# 令和7年度埼玉県 英語指導方法改善事業

## 研究成果発表



埼玉県マスコット「コバトン」

三芳町立三芳小学校  
三芳中学校

自分らしく  
あなたらしく

ともに  
よりよく  
生きる

# 未来へつながる MOVEプラン

- 非認知能力の重要性に着目し、子どもを主語にした授業や取組を  
実践することで、学びに向かう力=未来へつながる力を育てます
- 3つのプロジェクト・8つの取組を推進します

## 自分とつながるプロジェクト

### 1 子どもを主語にする授業づくり

- ① 学びに向かう力の育成
  - 非認知能力「みよしの力」<sup>※1</sup>の育成
- ② 未来を生きる力の育成
  - デジタル・シティズンシップ教育の推進
  - ICTの日常使いへの取組充実

### 2 子どもと本をつなぐ読書活動

- ① 学校図書館教育の推進
  - 豊かな読書活動の推進
  - 読書通帳等のデジタル化
  - 全校に学校司書を継続配置
  - 司書教諭・学校司書の連携充実
- ② 町立図書館との連携
  - 学校ブックトーク訪問の実施
  - 定期的な図書館司書連絡協議会の実施

### 3 誰一人取り残されない3Aプラン<sup>※2</sup>

- ① 教育相談の連携体制強化
  - 校内教育支援室「すてら」、校内教育支援室サポーターの設置
  - 教育相談室への専門相談員配置
  - 専門相談員を核に、各校相談員、SSW、SC等の連携体制の構築
  - 知能検査体制の強化、心理士の配置拡充
- ② 不登校対策の充実
  - 不登校予防メソッドの作成
  - 心の健康観察の導入
  - QUテスト<sup>※3</sup>の実施・活用(年2回)

## 社会とつながるプロジェクト

### 4 産官学民と共創する授業づくり

- ① 地域・企業と連携した総合的な学習の時間
  - 総合的な学習の時間におけるPBL型学習を中心とした探究的な学びの推進
  - 地域や企業等による出前授業の実施
  - 探究的な学びを生かしたプレゼンテーション大会の実施

### ② STEAM教育の実施

- 実技教科(音楽、美術、技術、家庭科、体育等)を軸とした、教科横断的な学びの実践

### 5 特色ある体験活動

- ① 環境教育の充実
  - 地域の特色を生かした取組の推進
  - 世界農業遺産に関する学習の充実
- ② 福祉教育の充実
  - 関係機関と連携した共生社会の実現に向けた取組の推進

## 世界とつながるプロジェクト

### 6 確かな英語力を支える グローバルアクション

- ① 英語力の育成
  - 全校へのALTの配置、4技能の確実な育成
  - ネイティブの先生と楽しく学べるイングリッシュツアーの実施
- ② 英語検定取得の推進
  - 受験料補助の拡充
  - 専門講師による対策講座
  - 民間英語塾との連携
  - 町内準会場の設置

### 7 国際感覚を育む国際交流

- ① 友好国等との交流
  - 中学生海外派遣及び親善大使
  - 大使館職員、留学生等による講演会
  - 世界的視野を育む交流活動

町の誇りを継承していく

### 8 伝統文化・芸術文化

- ① 伝統文化の継承
  - 歴史民俗資料館等と連携した伝統文化・体験活動
- ② 芸術文化の推進
  - 芸術文化のまちづくりに関する取組

※1 教育現場で育てる非認知能力について、三芳町で育てる非認知能力のグループを定義したものを「みよしの力」とし、よりよく生きようとする力、いっしょに自分と向き合う力

※2 三芳町教育センターを中心として関係各所が連携し、誰一人取り残されない教育を推進する取組 Anytime・Anywhere・いつでも、どこでも、の英文字

※3 楽しい学校生活を送るためのアンケート(心理テスト)

## 1 確かな英語力を支える グローバルアクション

### ① 英語力の育成

- 全校へのALTの配置、4技能の確実な育成
- ネイティブの先生と楽しく学べるイングリッシュツアーの実施

### ② 英語検定取得の推進

- 受験料補助の拡充
- 専門講師による対策講座
- 民間英語塾との連携
- 町内準会場の設置

三芳町

# グローバルアクション



ALTの全校配置により4技能の定着



オールイングリッシュデー

町内留学ができるイングリッシュツアー



三芳町

# 英語検定取得の推進

2025年度



民間英語塾と連携した英検対策セミナー



【対象級】

準2級

3級

4級

5級



オンライン英検対策講座

【対象級】

5級から

2級



英検<sup>®</sup>準会場の設置、受験料補助

# 研修の取り組み



## 1 英語研究推進委員会

- ★月1回 開催
- ★参加者  
三芳小 外国語推進委員  
三芳中 英語推進委員
- ★活動内容  
英語指導方法改善事業に関する取組についての研究



## 2 小中外国語・英語部会

- ★英語担当者研修会  
夏季研修会（8月）  
学習者用デジタル教科書  
活用研修会（8月）
- ★参加者  
町内小学校 外国語主任  
英語専科  
町内中学校 英語担当教員



## 3 小中相互授業参観

- ★年度当初
- ★実施校  
三芳小学校  
三芳中学校
- ★小中の授業参観を行うことにより、小中の円滑な接続を踏まえた指導方法についての研究



## 4 ALT活用研修会 ALT定期研修会

- ★ALT活用研修会（7月）  
町内での指導方法の共有
- ★即興性を高める帯活動  
Small Talk  
小学校での書く活動
- ★ALT定期研修会（毎月）

## 令和5年度の課題

- 中学校の言語活動の時間を増やす。
- コミュニケーションを行う目的・場面・状況を明確にした単元ゴールの設定をする。
- 学習者用デジタル教科書の活用や小中連携の取組をする。

# 研究テーマ

英語で自分の思いや考えを  
主体的に表現することができる  
児童生徒の育成



©Miyoshi Town

## 実現に向けての方策

- ① 実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動(言語活動)を行う時間を毎時間設定する。
- ② 単元計画を作成し、毎時間の授業で必要感のある課題の提示・まとめ・振り返りを入れ、指導計画の充実を図る。
- ③ 単元目標に向けて学習者用デジタル教科書の有効な活用方法の研究と実践を行う。
- ④ 小中の円滑な接続を踏まえた指導方法の改善・充実を図る。

## 令和6年度の課題

- ①スモールトークのゴールの明確化  
小中連携・段階的な指導方法の検討
- ②単元計画の中でのデジタル教科書の  
位置づけと活用法
- ③4技能5領域のバランスの取れた年間  
指導計画の作成

①実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動(言語活動)を行う時間を毎時間設定する。

# スモールトーク の充実



# スモールトークの充実

年度当初の状況

●子供同士がトピックに合わせて自由に会話をするスモールトークの基本形はできたものの、ゴールや評価があいまいで活動がやりっぱなしになっている。

①ゴールの確認

②段階的な指導方法

③パフォーマンステストと評価

## ①ゴールの確認 小学校

スモールトーク を行う主な目的

(1) 既習表現を繰り返し使用できるようにして  
その定着を図ること

(2) 対話の続け方を指導すること

(小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブックより)

# 小学校でのスモールトーク

話すこと(やり取り)

ウ 自分や相手のこと及び身の回りに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

(小学校学習指導要領解説 外国語編)

# 言語活動の内容

話すこと(やり取り)

ウ **自分に関する**簡単な質問に対して  
その場で答えたり、相手に関する**簡単**  
**な**質問をその場でしたりして、**短い**会  
話をする活動。

(小学校学習指導要領解説 外国語編)

## ①小学校のゴール

5年生は指導者の話を聞くこと中心

6年生はペアで伝え合うこと中心

授業の初めに相手を替えて1～2分程度の  
対話を2回程度行う対話的な言語活動

(小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブックより)

## 小6 UNIT 6

# What sport do you want to watch?

S1: What sport do you want to watch?

S2: I want to watch soccer.

S1: Soccer? That's nice. Why?

S2: I like soccer. How about you? What sport do you want to watch?

S1: Me? Umm, I want to watch badminton.

S2: Badminton? Do you like badminton?

S1: Yes. I like badminton. I can play badminton well.

(小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブックより)

# 中学校でのスモールトーク

話すこと(やり取り)

ア **関心のある事柄**について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。

(中学校学習指導要領解説 外国語編)

# 言語活動の内容

話すこと(やり取り)

(ア) **関心のある事柄**について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動。

(中学校学習指導要領解説 外国語編)

# 会話を継続するポイント

①相手に聞き返したり確かめたりする

(Pardon? / You mean..., right? など)

②相づちを打ったり, つなぎ言葉を用いたりする

(I see. / Really? / That's nice. など)

③相手の答えを受けて, 自分のことを伝える

(I like baseball, too. など)

④相手の答えや自分のことについて伝えたことに「関連する質問」を付け加える

(What kind of Japanese food do you like? / How about you?)

(中学校学習指導要領解説 外国語編)

## ①中学校のゴール

関心のある事柄について、詳しく話をしたり、会話の流れに応じて関連する多様な質問を即座にしたり、相手の答えから話題を広げたり深めたりして会話を継続できるようにする。

# 小6

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、<b>自分自身や興味のあることなどについて</b>その場で伝えたり、相手のことを知るために、相手に質問したりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、<b>自分自身や興味のあることなどについて</b>その場で伝えたり、相手のことを知るために、相手に質問したりしながら会話を継続しようとしている。</p>

# 中1

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあることなどについてその場で<b>詳しく</b>伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、<b>その答えから話題を広げたり深めたりしながら</b>会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあることなどについてその場で<b>詳しく</b>伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、<b>その答えから話題を広げたり深めたりしながら</b>会話を継続しようとしている。</p>

# 中2

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあること・<b>日常的な話題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあること・<b>日常的な話題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続しようとしている。</p>

# 中3

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、日常的な話題・<b>社会的な問題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、日常的な話題・<b>社会的な問題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続しようとしている。</p>

実施することを想定。2コマ×35週=70コマ分の年間計画 トピックの内、太字のものは展開案を提供。

4～7月(1学期)

# ②段階的な指導方法

配当コマ数	20コマ程度				
トピック	自己紹介 好きなもの・こと	人紹介	思い出/経験	～したいこと/予定	日本の文化/地域 世界の文化/地域
	・「好きな食べ物」 ・「好きな飲料」 ・「好きな季節」 ・「暇なときをすること」	・「家族の紹介」 ・「好きなキャラクター紹介」 ・「好きな歌手」	・「大活躍の思い出」 ・「週末にしたこと」 ・「運動会の思い出」	・「大りたい習い事とその理由」 ・「暑い季節に食べたいもの」 ・「夏休みにしたいこと」	・「カナダとニュージーランドのど ちらに行きたいか。」
対話を継続 するための 基本的な表 現	①自分のことを伝える ・I like ~,too. ・Really? I don't like ~ ・I can't eat ~ ・I usually play~	①自分のことを伝える ・I'm a baseball fan too. ・I have a brother,too. ・I don't have a brother,but I want a brother.	①自分のことを伝える A: I went to Tokyo. B: That's nice.I want to go to Tokyo.I like Tokyo very much.	①自分のことを伝える ・I want to join the ~ Because I like ~. ・I want to eat shaved ~ ・I want to go to my gr house.	
	②関連する質問 ・What kind of ~do you like? ・Why do you like ~? ・What else do you like? ・What do you do in summer?	②関連する質問 What is his favorite ~? When is his birthday? Where is he from~? How old is he? What can he do?	②関連する質問 What did you do there? What did you (eat)? Who did you go with? How was it?	②関連する質問 Are you good at ~? / Is it exciting for you? Do you like ~? What do you want to ~? What do you usually do during the summer vacation?	What is famous in Canada?
主な 言語材料	【トピックに関わる基本的な表現】 ・What ~ do you like? ・Do you like? ・I like ~. ・What do you usually do in your free time? ・I usually play baseball in my free time.  MPD p36 Unit1 MPD p39 Unit1 MPD p39 Unit2	【トピックに関わる基本的な表現】 ・This is ~. ・He/She is ~. ・He/She can ~. ・His/Her favorite ~ is ~. ・He/She is ~.  MPD p37 Unit4 MPD p38 Unit8	【トピックに関わる基本的な表現】 ・Did you enjoy ~? ・What did you do? ・What did you do in ~? ・I went to ~. / I enjoyed ~ing. ・I saw ~. ・I ate ~. ・It was great.  MPD p39 Unit3 MPD p41 Unit7	【トピックに関わる基本的な表現】 ・Which club ( team ) do you want to join? ・Are you good at ~? ・Is it exciting for you? ・What food do you want to eat in summer? ・Which ice cream flavor do you like? ・Where do you want to go? ・Why do you want to go there?  MPD p38 Unit7 MPD p41 Unit8	【トピックに関わる基本的な表現】 ・Where is the famous place in Canada? ・Canada is famous for ~ ・I want to see ~ ・It has ~ ・You can see ~ ・You can enjoy ~  MPD p38 Unit7 MPD p40 Unit4, 5
	【繰り返しの使用が期待できる語 彙】 ※教師は認識して使用することが望 ましい。  MPD p.8~p.17	【繰り返しの使用が期待できる語 彙】 ※教師は認識して使用することが望 ましい。  MPD p.20 性格 p.21 家族	【繰り返しの使用が期待できる語 彙】 ※教師は認識して使用することが望 ましい。 MPD p22~p23 動作・したこと  ・practice ・hard ・tired ・everyday ・win/wan ・the first prize	【繰り返しの使用が期待できる語 彙】 ※教師は認識して使用することが望 ましい。  MPD p.35 個活動 MPD p.12~p.14 食べ物・飲み物 MPD p.22~p.23 動作 MPD p.31遊びなど	【繰り返しの使用が期待できる語 彙】 ※教師は認識して使用することが望 ましい。  MPD p.16 自然 教科書 P.30 カナダ P.53 ニュージーランド

会話を継続  
するための  
基本的な  
表現を整理

トピックに  
必要な  
文法・語彙  
などを整理

トピックを5つの  
カテゴリーに整理

## ②段階的な指導方法

# リアクションカードの共有

**Really?**

(ほんとに?)

**Sounds good!**

(いいですね!)

**Me neither.**

**Wow!**

**I see!**

(なるほど)

**Oh, no!**

**Interesting!**

(おもしろい!)

**Me too.**

(わたしも)

**That`s great!**

(すばらしい!)

**Sure!**

(もちろん!)

**No, sorry.**

**Sorry?/Pardon?**

(もう一度お願いします。)

**Good luck!**

(がんばって!)

**That`s right!**

(そのとおりです!)

**That`s right!**

# スモールトークの工夫

トピックの精選

即興で会話をさせてみる

TSTトーク  
ALTとの会話

内容面・言語面の整理

中間指導

板書の工夫

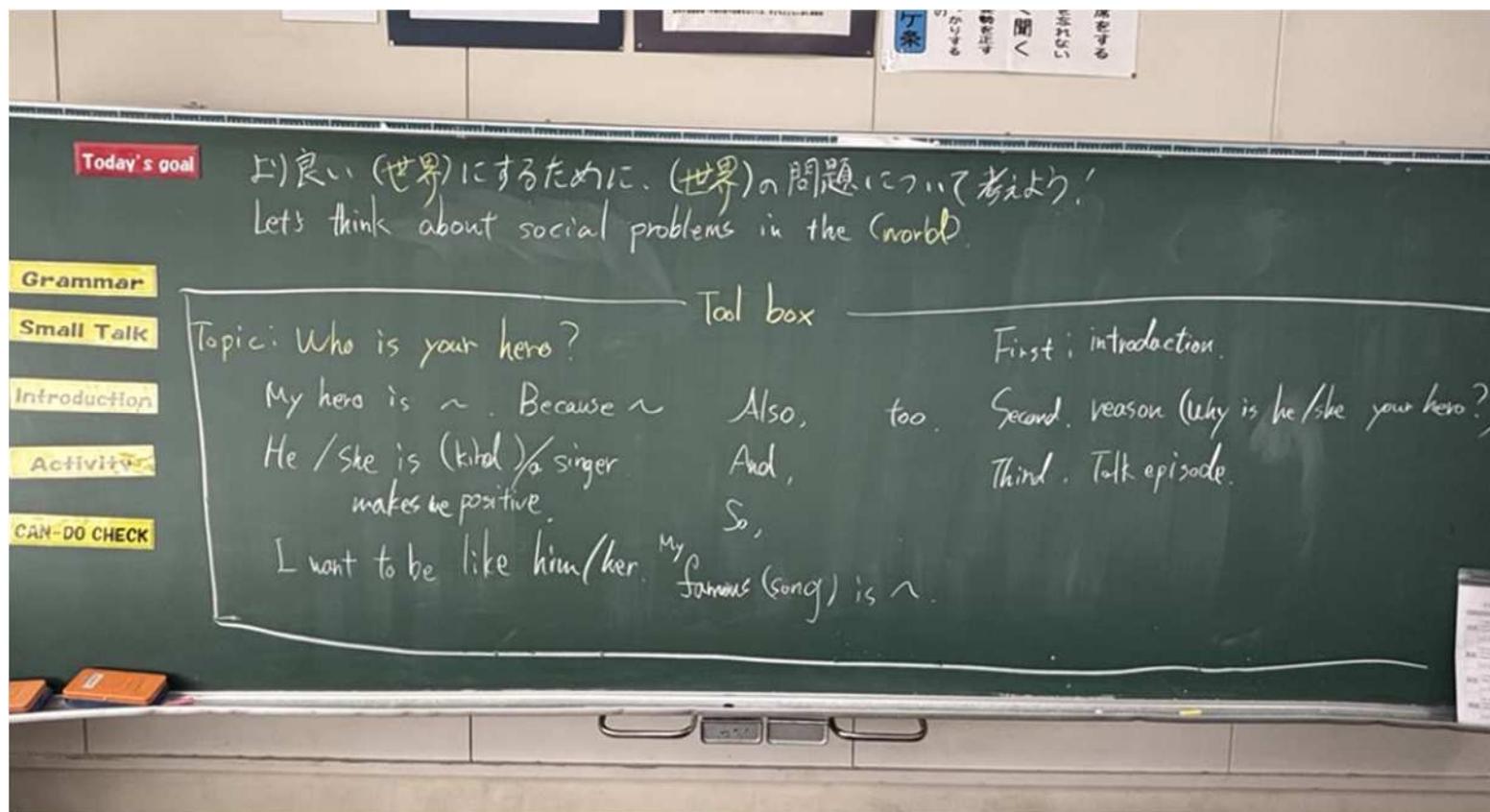
プリント配布

ノートの記述

もう一度行う

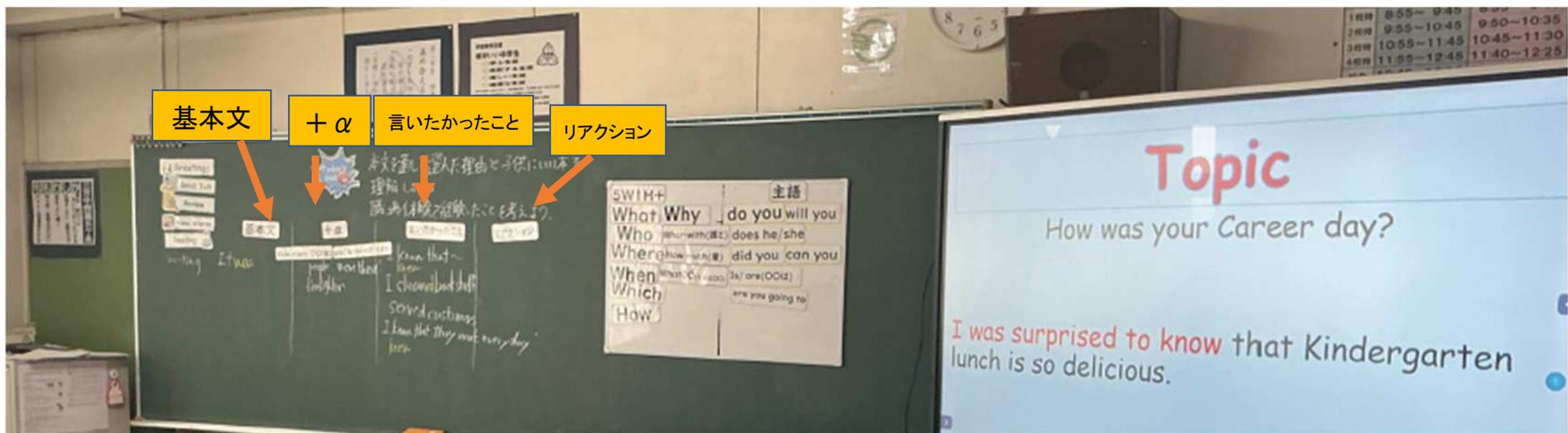
# 内容面・言語面の整理

## 中間指導



# 内容面・言語面の整理

## 板書の工夫



## 内容面・言語面の整理

### プリント配布

- ★スモールトークは、2時間扱いで1つのトピックについて話す。
- ★1時間目の最後に内容面・言語面で整理されたプリントを配り、子供たちはそのプリントも参考にしつつ、自分の言いたかった表現を見直し、ノートにまとめる。
- ★2時間目はノートを参考に1回目は話し、2回目からはノートを見ないで話す。

# 配布プリント

## Small talk sheet(Topic:the rules of Japan)

Class 2 - no. \_\_\_\_\_ name \_\_\_\_\_

A	B
<p>Hi!</p> <p>Not really. I want to know about them. (そんなに。私はもっと学びたい)</p> <p>(reaction)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• I see なるほど</li> <li>• It's good to know that. 知れてよかった</li> <li>• Thank you for sharing. 共有してくれてありがとう</li> <li>• That's interesting. それはおもしろいね</li> </ul>	<p>Hi!</p> <p>Do you know about the rules of Japan? (日本のルールについてよく知っていますか?)</p> <p>Ok, I'll explain the rules and customs in Japan. (では日本のルールや習慣を説明しましょう!)</p> <p>If you follow these rules, you will have a great time. (もしこれらのルールを守るならあなたは素晴らしい時間を過ごせるでしょう)</p>

### ~しなければならない

☆You have to~

- bow and say "konnichiwa" お辞儀をして「こんにちは」と言う
- take the trash home ごみを持ち帰る
- walk/stand on the right/left side of ~ ~の右/左側を歩く or 立つ
- Ex. the road(道), the escalator(エスカレーター)
- be quiet(静かにする)
- sort your trash ごみを分別する
- say "Itadakimasu" いただきますとき。
- use polite language 丁寧な言葉を使う

- take off your shoes 靴を脱ぐ
- take the trash home ごみを持ち帰る
- be quiet 静かにする
- wait in line 並んで待つ
- put your rice bowl on the left and your soup bowl on the right ご飯は左側、汁物は右側に置く
- put shoes in order 靴をそろえる

### ~する必要はない

☆You do not have to~

- hug ハグをする
- sit in a Japanese style 正座をする
- give a tip チップをあげる

### ~してもいい

☆It's ok to~

- slurp the noodle 麺をすする
- flush toilet paper トイレトイレットペーパーを流す

### ~したほうがいい

☆It's better to~

- offer your seat to ~ ~に席を譲る  
ex. elderly person(高齢者), pregnant woman(妊娠中の女性)
- wear slippers スリッパをはく
- give way to ~ ~に道を譲る
- hold your bowl お茶碗を持ち上げ

### ~するとき、~する前、~する後

☆when you~(~するとき)

- meet someone(for the first time) 初めて誰かに会う
- travel 旅行する
- are on ~ ~にいる  
Ex. the train / the bus
- are in ~ ~にいる  
Ex. the car/ library
- are at home 家にいるとき

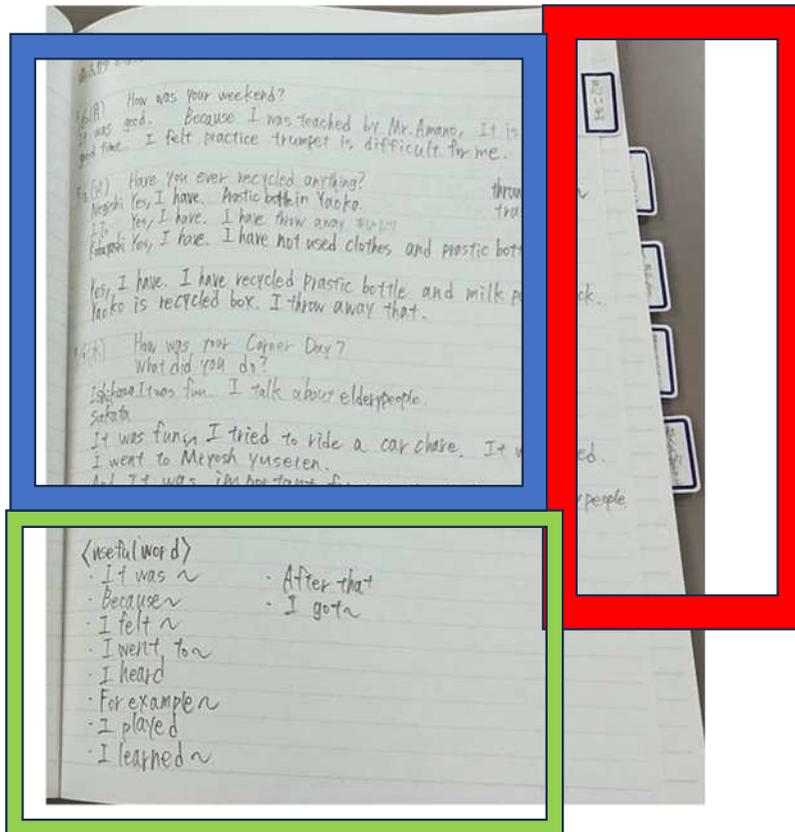
- go out でかける
- enter the house (家に入る)
- eat or drink
- talk to ~ ~と話すとき
- travel 旅行する
- ☆before(~の前)/after ~(~の後)
- before eating /after eating

## ②段階的な指導方法

### スモールトーク用ノート作成

自分の話した  
表現を整理

中間指導で  
出てきた  
文法・語彙  
などをメモ



付箋を使い、  
ノートを  
5つのカテゴリー  
に分ける

自分の発言

相手の発言

リアクションを整理

Topic: 相手の発言に対してリアクションをしよう

自分の発言  
I want to go to Korea.  
I want to eat yonnyom chicken, toppogi and kimuchi

相手の発言  
I want go to Okinawa.  
I want to eat Takoyaki.

言いたかったけど言えなかった表現 (中間指導の内容)  
How do you go to Osaka? Which do you like, Takoyaki or Okoyaki?  
What do you want to eat?  
When do you want to go?  
Who do you go to with? How long do you want to stay?

リアクションを整理  
That's nice! Wow!  
Me too. Really? Pardon me?

幼稚園 子供たちと一緒に遊ぼう。  
子供たちと一緒に遊ぼう。  
I'm going to visit kindergarten.  
I'm going to work 9 to 5

I will communicate with children.

I want to work kindergarten in the future

That's nice! I see.  
You can do it! pardon?

言いたかったけど言えなかった表現 (中間指導の内容)

### ③パフォーマンステストと評価

★複数単元を通じた「話すこと[やり取り]」  
における各観点の一体的な評価

★学期に一度、ALTによるパフォーマンス  
テストを行い、評価をつける。

★時間

小6【約1分】 中1～中3【1分～2分】

# 小6

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、<b>自分自身や興味のあることなどについて</b>その場で伝えたり、相手のことを知るために、相手に質問したりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、<b>自分自身や興味のあることなどについて</b>その場で伝えたり、相手のことを知るために、相手に質問したりしながら会話を継続しようとしている。</p>

# 中1

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあることなどについてその場で<b>詳しく</b>伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、<b>その答えから話題を広げたり深めたりしながら</b>会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあることなどについてその場で<b>詳しく</b>伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、<b>その答えから話題を広げたり深めたりしながら</b>会話を継続しようとしている。</p>

# 中2

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあること・<b>日常的な話題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、自分自身や興味のあること・<b>日常的な話題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続しようとしている。</p>

# 中3

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
話すこと 〔やりとり〕 (や)	<p>〈知識〉 ①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。</p> <p>〈技能〉 ②既習の表現・語句の意味や働きを理解をもとに、自分や相手のことや、興味のあることなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、日常的な話題・<b>社会的な問題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続している。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらうために、日常的な話題・<b>社会的な問題</b>などについてその場で詳しく伝えたり、相手のことをよく知るために、相手に質問したり、その答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続しようとしている。</p>

# 評価基準（ルーブリック）

話すこと (やりとり)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	既習の表現・語句の意味や働きを理解してコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。（思・判・表のaを満たす内容を話してもコミュニケーションに支障のない程度の英文で話すことができる。）	自分のことや自分の考えを詳しく述べたり、相手に質問して相手の答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続している。	自分のことや自分の考えを詳しく述べたり、相手に質問して相手の答えから話題を広げたり深めたりしながら会話を継続しようとしている。
b	既習の表現・語句の意味や働きを理解してコミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて話すことができる。	自分のことや自分の考えを述べたり、相手に質問して会話を継続している。	自分のことや自分の考えを述べたり、相手に質問して会話を継続しようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

# スモールトークの充実

## 成果

- ・**児童・生徒の積極的な発話への変化があった。**
  - ・英語発話への抵抗感が減った (B, C先生)
  - ・授業内で全員が英語を発話する機会が増えた (B先生)
  - ・積極的に英語で話そうとする生徒が増えた (A, C先生)
- ・**児童・生徒のコミュニケーション能力が向上した。**
  - ・やり取りが続くようになった (D先生)・SVで話せるようになってきた (D先生)
  - ・友達とのコミュニケーションを楽しめるようになった (B先生)
  - ・友達の使うフレーズを真似して使う生徒が増えた (C先生)
  - ・話す回数が増えるにつれて、滑らかな発話やフレーズ増加が見られる (C先生)
  - ・教師の英語理解度が向上した (C先生)
- ・**年間計画を作成したことで、スモールトークにおける小中連携した系統的な指導の土台が作れた。**
- ・**事前にトピックに対応した表現等をまとめておくことで中間指導を効果的に行うことができた。**

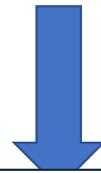
②単元計画を作成し、毎時間の授業で**必要感のある課題の提示・まとめ・振り返り**を入れ、指導計画の充実を図る。

## 単元計画作成と 振り返りの充実

# 単元計画作成と振り返りの充実

## 年度当初の状況

- 単元のゴールの4技能・5領域に偏り
- 振り返りが形式的になっている



- ①年度当初に単元目標をバランス良く配置
  - ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況を入れる。
  - ・4技能5領域の何で評価をするのか明確にする。
- ②ゴールへの見通しをもてるようにする。
- ③子どもが振り返りを書き貯め、ゴールに向かって自己調整ができるように振り返りのさせ方を工夫する。

# 振り返りの視点の共有

ま・な・び **小学校**

わ・か・さ・ぎ **中学校**

まなんだよ（自分）  
なるほどね（協働的な学習で気づいたこと）  
ひろげたいな（今後）

わかったこと・わからなかったこと  
かんがえたこと  
さらに知りたいこと  
疑問に思ったこと

2学期を振り返ろう！  
何が思い出に残ってる？



ま なんだよ（自分）

Unit6では英語と一緒に動物のために出来ることも学んだ

な なるほどね（友達）

Unit6のときにいろんな絶滅危惧種を知ったり対策を友達の発表で聞いた

び ひろげたいな（今後）

調べなかった動物や対策、原因、国などを自分で調べて学習したい

電車での行き方や乗り換え・道案内の仕方や表現を理解することができた。



わ 今私達が知っている文法で電車の乗り換え、道案内ができるということが分かりました。

か 外国人観光客に話しかけるのはとても勇気があることだけど文法がちゃんとしていなくてもいいから気軽に話しかけることが大切だと思いました。

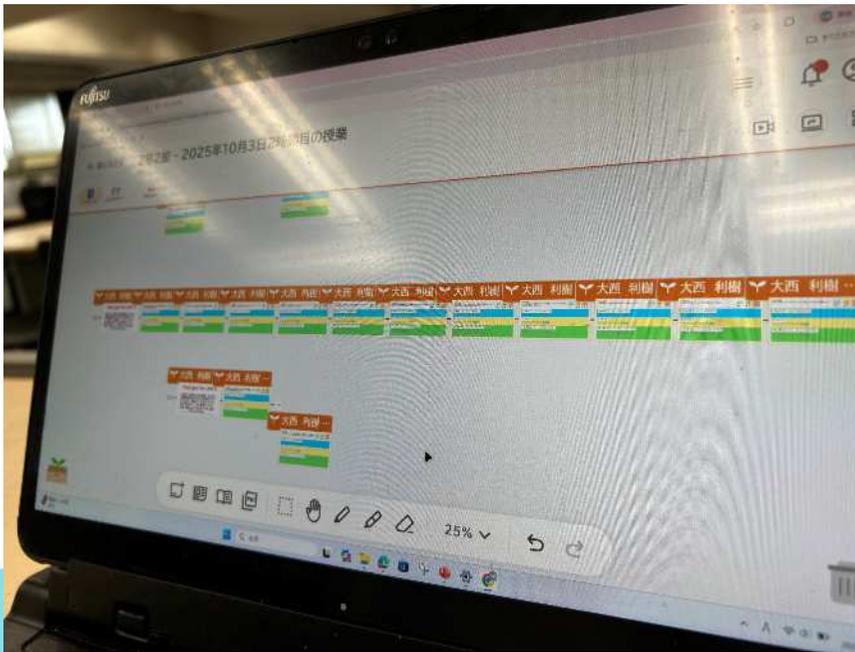
さ ぎ どこに行くにはなんの路線に乗ればいいのか、何番なのか、まだよく理解していないのでこれから電車を利用していく中で覚えていきたいなと思いました。

# 単元ゴールを生徒に意識させる

## 単元のゴールと本時の目標および毎時間の振り返りを常に可視化する

中学校

例1 1時間ごとに振り返りカードが増えていく



例2 1枚のシートに単元のゴールと毎時間の目標を記載（スプレッドシートの活用）

単元ゴール

Unit 7の目標	自身が調べてきた国についての情報をまとめ、読み手に興味をもってもらえるような広告紙を作成しよう。			
	Date	Goal	Achievement (A B C)	Comment (わかったこと、よくわからなかったこと、疑問に思ったことなど)
Unit 7		ペア相手が何をしているかを現在進行形を正しく使って言い当てることができる。		
		エディとアナの会話が再現するために、イントネーションやアクセントに気をつけながら感情をこめて音読することができる。		
		ペア相手と今何をしているのが、ネット上で6往復以上のやりとりをすることができる。		
		教科書本文を読んで、オンラインツアーで収集した情報をまとめることができる。		
		エディと母とのチャットのやりとりを読んで、質問に正しく答えることができる。		
		留学するなどの国を選び、そこには何があてることができるかを調べ、情報をまとめよう。		
		ペア相手とお互いの関心のある国の特徴や見どころについて興味をもってもらえるように伝えたり、たずねたりすることができる。		

本時の目標

# 単元計画作成と振り返りの充実

## ◎成果

- ・単元計画を子どもと常時共有しておくことで、授業での気づきや学びを振り返る際に、自分の学びが最適になるように調整しようとする姿が見られた。
- ・ICTを活用して、自分の学びの軌跡を可視化できることで、振り返りの効率化だけでなく「学びに向かう力」の向上にもつながった。

## ▼課題

- ・「語彙・文法の説明」→「練習」→「言語活動」という**積み上げ式**の学習から単元や授業を貫くタスクを与え、学習者がそのタスクを通して実際に言語を使いながら習得していく**タスク型**の学習への転換をはかる

③単元目標に向けて学習者用デジタル教科書の有効な活用方法の研究と実践を行う。

# 先生方の実践（研修の事前課題）

## 聞くこと

### 【使う場面】

- 本文の内容理解および本文に関する問題への取組

### 【デジタル教科書を中心としたICT活用のポイント】

- 自分のペースで、聞きづらいもしくは難しい箇所を何度もリピート再生することができる。
- 教科書本文の導入動画を見せて、単元のテーマと目的文法を理解してもらう。

## 読むこと

### 【使う場面】

- キーセンテンスや言語材料、使える表現をチェックする場面

### 【デジタル教科書を中心としたICT活用のポイント】

- 良い表現や、本文に関する問題の答えの根拠となる箇所へのアンダーラインやチェックをすることができる。
- 日本語訳を表示しながら音読練習を行うことで、生徒が安心して音読練習をしやすくなる。

## 話すこと

### 【使う場面】

- 会話文を読むときのロールプレイ練習をする場面

### 【デジタル教科書を中心としたICT活用のポイント】

- 会話文本文の音声を再生する時に、ロールプレイモードにして行うことで、生徒自身が役になりきりながら会話練習を行う。

## 書くこと

### 【使う場面】

- スピーチ原稿や記事を作る場面

### 【デジタル教科書を中心としたICT活用のポイント】

- 文の形を真似してほしい列文に書き込み機能を用いて下線を引く。
- 一問一答を行うときに、生徒に英文を書き込んで送信してもらう。

# 学習者用デジタル教科書の活用

年度当初の状況

●教師の指示のもと、デジタル教科書の同じコンテンツを一斉に使っている。



- ① 単元ゴールや授業のめあてを達成するための手段の一つとして、子ども自身が学習者用デジタル教科書を選んで使えるようなデジタル教科書の活用法・活用場面を増やす。
- ② 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をはかるためのデジタル教科書の活用する。

# 動画によるデジタル教科書の先進事例紹介

## ★新出単語・本文の内容理解

個別で時間を取り、デジタル教科書を活用してそれぞれで学習を行う。

## ★本文の理解・自分の考えの整理

デジタル教科書を使い、わからないところにチェックをして読む。

## ★発展的な課題

印象に残ったところや自分のレポートに必要なところに線をひいたり、自分のコメントを入れる。

## ★レポート内容の調べ作業・レポート作成時の単語調べ

# 単元計画の中でデジタル教科書の可能性を探る

グループごとに、「デジタル教科書単元活用シート」を使い、デジタル教科書の活用を組み込んだ単元計画を検討した。

デジタル教科書単元活用シート 学校名・名前

単元名

単元の目標

単元の計画

個別最適な学び

協働的な学び

デジタル教科書単元活用シート 学校名・名前

単元名

単元の目標

単元の計画

個別最適な学び

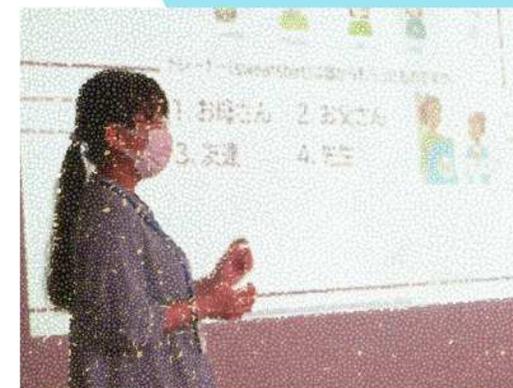
協働的な学び

- ・新出単語・本文の内容理解  
個別で時間を取り、デジタル教科書を活用してそれぞれで学習を行う。
- ・本文の理解・自分の考えの整理  
デジタル教科書を使い、わからないところにチェックをして読む。また、発展的な課題として印象に残ったところや自分のレポートに必要なところに線をひいたり、自分のコメントを入れる。
- ・発展的な学習および学習支援  
早く終わってしまった子への次の手立てや、課題で行き詰った生徒への手立てを子供が取りに行けるようにする
- ・レポート内容の調べ作業
- ・レポート作成時の単語調べ

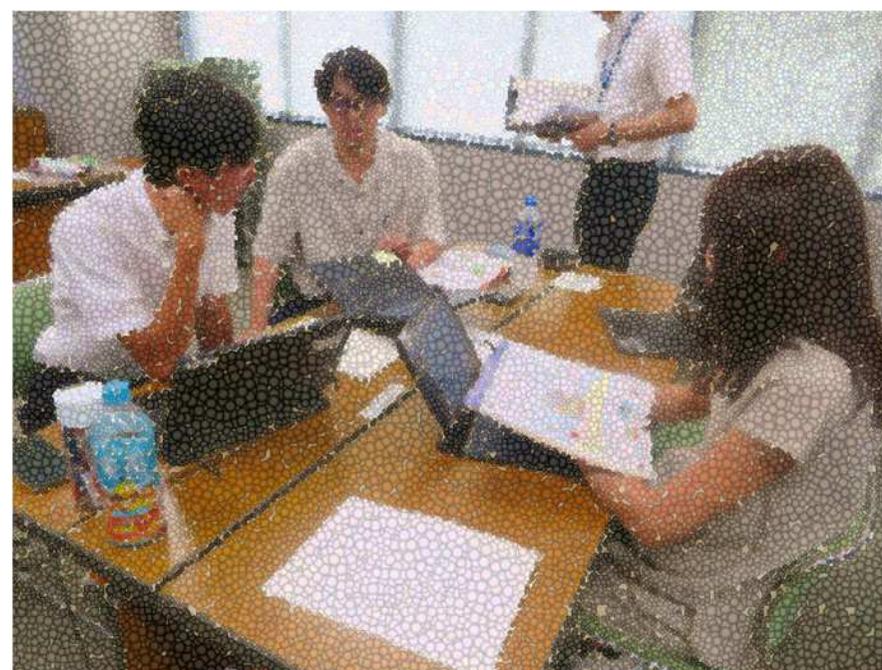
- ・内容の確認(ペア)  
一定時間後、ペアで内容確認
- ・4人グループでの作業  
個人作業中にわからないところは聞きやすいよう協働的な学びの隊形を作る
- ・考えの共有(ICTツール)  
自分の考えをまとめたものをオンラインで提出する。お互いの考えを見られるようにする。
- ・グループ発表  
レポートのたたき台ができたところでグループで共有し、お互いにアドバイスを行う。

# 研修会の様子

全体発表



【ワークショップ】学習者用デジタル教科書を活用した授業づくりの検討



【単元計画づくり】についてグループで協議

# 研修会の様子

## 【ワークショップ】学習者用デジタル教科単元活用シートの作成

### デジタル教科書単元活用シート 学校名・名前 **1グループ**

単元名	Unit 4 What is important in a homestay?
単元の目標	ニーナとパトリックが安心して日本でホームステイできるようにするために、アドバイスやホームステイで大切なことを動画で伝えよう。
単元の計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>ALTの実体験（日本と外国の文化のギャップなど）のスピーチを聞く。本文の概要、しなければいけないこと、しなくて良いことについての文を捉える(have to, don't have to)</li> <li>本文を読みながらアドバイスをする際に使える表現を探す。</li> <li>本文を読みながら家でのルールを伝える際に使える表現を探す。</li> <li>本文を読みながら家での過ごし方を伝える際に使える表現を探す。</li> <li>本文を読みながら説明しにくい身近なことを伝える際に使える表現を探す。</li> <li>準備</li> <li>発表(動画)</li> <li>8</li> </ol>



### 個別最適な学び

- ・新出単語・本文の内容理解
- 個別で時間を取り、デジタル教科書を活用してそれぞれで学習を行う。
- ・本文の理解・自分の考えの整理
- デジタル教科書を使い、わからないところにチェックをして読む。また、発展的な課題として印象に残ったところや自分のアドバイス動画に必要なところに線をひいたり、自分のコメントを入れる。
- ・発展的な学習および学習支援
- 早く終わってしまった子への次の手立てや、課題で行き詰った生徒への手立てを
- 子供が取りに行けるようにする
- ・アドバイス内容の調べ作業
- ・アドバイス動画作成時の単語調べ

### 協働的な学び

- ・日々の授業で行う「Activity」1～4までの個別で作った表現をペアやグループで共有させる。
- ・各Read and ThinkのRound3の表現を参考にして、使える表現をペアやグループで共有をさせる。
- ・お互いに練習動画を撮影しあって、意見交換をする。

学校名・名前 <b>3グループ</b>
world
クラスで行く旅行先を決めるために、世界の行き先について紹介し合おう

- 単元の計画
- Starting Outを見て、単元のゴールを予想させて理解する。自分の行きたい国を見つける。
  - ALTのプレゼンテーション（クイズなど）キーセンテンスを理解する。
  - 本文理解、教科書の練習問題に取り組み。グループで行きたい国を決める。発表準備、書く練習
  - 5・6 カードの作成、早くできたら発表練習
  - グループで発表練習
  - 全体で発表

### 個別最適な学び

- ①「Map of the world」で様々な国の観光名所、食べ物等を調べる。
- ②Picture dictionary動作おさえる。
- ③Starting Outに個人で考える。
- ④～⑥「Let's Read and Write」教科書に書かせる。
- ④関の決定
- ⑤⑥「行き先カード」オクリンク（ICIT）か教科書テーマ別に割れ、調べる。

### 協働的な学び

- ②グループで関を選び、「ミニクイズ」を作成する。You can't, can'tに慣れさせる。Picture dictionary
- ④～⑥「Let's Read and Write」グループで行きたい関・見られるもの・食べられるもの・買えるもの教科書に書かせる。
- ⑦発表練習（グループ）アドバイス 総記 ジェスチャー
- ⑧全体発表 振り返り

### 9個別最適な学び

- ・まず自分の家のルールを書き出す。
- ・海外の生活や文化について調べ、カルチャーギャップが出やすいところをネットで調べる。
- ・既習表現や教科書で出てきたフレーズから使えそうなところを抜き出す。
- ・ALTにインタビューをするなどして実験をさく。

### 協働的な学び

- ・スピーチ原稿で使えそうなフレーズを共有したり、たずねたりする。
- ・個別で出した案を話したり、聞いたりsmall talkで家でのルールや家での過ごし方やスポーツが上手になったアドバイスをテーマについて話させることで単元目標を行う上で必要となる表現を自分で使えるようにさせる。
- ・small talkの際、自分が使った表現を共有する時間を作る。
- ・ALTの実体験をもとに日本に来た際に間違えてしまっているルールについて話す。
- ・本文の中で単元表現で使えそうな表現を話し合う。
- ・オクリンクで情報の共有を行う

# 学習者用デジタル教科書の使用段階

学習を徐々に児童生徒に委ねていくことが重要



放送大学 小林 准教授 提供資料

# 学習者用デジタル教科書活用の研究と実施

## 成果と課題

### ◎成果

- ・ 学習者用デジタル教科書の多様な機能・操作を、実際の授業の中で多くの教員が活用するようになった。
- ・ 研修会を通して、個別最適・協働的な学びの視点から単元の中でさまざまな活用ができることを学び、一斉指導からの脱却につながった。

### ▼課題

- ・ 単元計画という大きな流れの中で、子供に学習を委ねる学習者用デジタル教科書の活用という指導観の転換にはいたらなかった。

## ④小中の円滑な接続を踏まえた指導方法の改善・充実を図る。

- ・相互授業参観
- ・指導方法の共有化
- ・小中連携加配教員の配置

# 小中の接続を踏まえた指導方法の改善・充実について

## 成果と課題

### ◎成果

- ・中学校で感じるギャップや壁を知ることで、接続を円滑にするために小学校段階での指導に生かすことができた。
- ・「話すこと」に関して系統性を立てて実施したことで、英語でのコミュニケーションの基礎から、学年ごとにステップアップすることができた。

### ▼課題

「書くこと」「読むこと」に関しても、小中を見通した段階的・系統的な指導の確立をする。



- ・英語で話すことが好きな子が増えた。
- ・日本語でも話すのが苦手だった子が、英語で「こういう風に言いたいときにどう表現したらよいか」と質問してくれて嬉しかった。
- ・子ども達が恥ずかしがらずに、「英語を使ってみたい」「話してみたい」と思えるようになった。

- ・中学校に上がってきた段階で「英語で話すこと」への抵抗感がなくなっている。
- ・言語活動で、困ったときに生徒同士で聞き合ったりする姿が見られる。
- ・「自分がこういう気持ちだから、それを英語で相手に伝えたい」と意欲的な生徒が増えた。

## 研究テーマ

# 英語で自分の思いや考えを主体的に表現することができる児童生徒の育成

英語専科

B 教諭

中学2年生担当

D 教諭

中学1年生担当

A 教諭

中学3年生担当

C 教諭

- ・完璧な文章でなくても、言いたい表現を、自分なりの言葉で言おうとする子が増えた。
- ・自分の思いを伝えたいから、「調べる」「読む」「聞く」「話す」「書く」と自分なりの目的意識をもって活動する子が増えた。

- ・2年間の研究を通して、自分の思いを英語で表現できるようになった。これまでは、言われたものしか言えなかったが、思考するようになった。
- ・相手が言ったことに対して深く聞き合う姿勢がみられるようになった。
- ・子ども自身が「英語で表現できるようになった」と成果が出ていることを実感している。何より自信をもっている。
- ・自分も授業をやっていて楽しい！子ども達の思いからから授業を進めるので、プリントを作らなくてすむようになり、授業準備が減った。

ご清聴ありがとうございました



©Miyoshi Town